

かごしまブランド

県内各地から

KAGOSHIMA BRAND

南さつまの ハウスきんかん

まるごと皮まで食べられます！
大粒に甘みがギュッと詰まった
おいしい“きんかん春姫”

南さつま市

枕崎市

南九州市

南さつま 南九州・枕崎 の 景



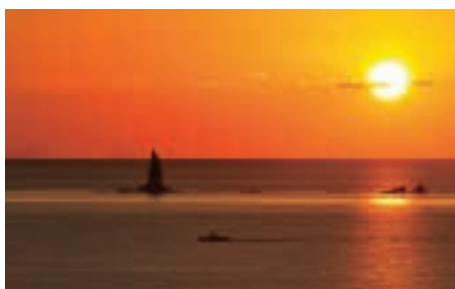
万世特攻平和祈念館／昭和18年夏から19年末にかけて建設された陸軍最後の特攻基地跡に遺品や当時の関係資料を後世に残し、恒久の平和を祈念するよう建てられました。館内には吹上浜沖から引き揚げられた「零式三座水上偵察機」や、「至純の心」を綴った「血書」、遺品、遺影などを多数展示しています。

○問い合わせ先／万世特攻平和祈念館
0993(52)3979



知覧武家屋敷／母ヶ丘の優雅な姿を背景に、麓一体に美しい街並みが佇む知覧の武家屋敷庭園。街並み全体はまるで箱庭のような趣があり、「薩摩の小京都」と呼ばれている。およそ260年前から変わらぬ姿を保ち続ける武家屋敷庭園に一歩足を踏み入ると、そこは別世界。静かな空気が流れる中、薩摩の武士の熱い息づかいを感じる。また、広い敷地内には国の名勝に指定された七つの庭園があり、端正にして優美な光景が目の前に広がります。

○問い合わせ先／知覧武家屋敷庭園保存会
0993(58)7878



火之神公園（坊野間県立自然公園内）／火之神公園のその雄大な景観は、薩摩半島随一を誇り、沖にそびえ立つ標高42mの立神岩が印象的です。近くには、平和祈念展望台が建立されており戦艦大和の沈没地点から北側約200kmに位置する小高い丘に、太平洋戦争で散華された多くの英霊の殉難鎮魂の碑と、世界の恒久平和を願うシンボルの女神像が安置されています。

○問い合わせ先／枕崎市水産商工課
0993(72)1111

鹿児島県薩摩半島南部の南さつま市や南九州市、枕崎市では、温暖な気候のもとで、ビニールハウスでのきんかんの栽培が盛んに行われている。春を告げる頃が旬で、姫りんごのようにかわいらしいことから「きんかん春姫」と名の付いた「南さつまのハウスきんかん」。ハウス栽培のきんかんの中でも、糖度16度・直径28mm以上で、開花から収穫まで約210日以上かけてじっくり完熟させた選りすぐりのもの。色つやがよく、糖度も高く、皮ごとおいしく食べられるのが特徴。

平成17年にかごしまブランド産地に指定され、平成19年産では76戸の生産者が12haで栽培し、1月上旬から3月下旬にかけて、232トンを中心に東京・大阪、県内市場へ出荷している。

南さつま市の栽培農家内門章一さんのビニールハウスでは、色鮮やかなきんかん春姫がたわわに実っていた。

「今年は平年以上の大ききで、糖度も満足できるものができています」と笑顔の内門さん。収穫は一つ一つ手作業で行い、年に3、4回花をつけるため、真夏時にはこまめな摘果作業も欠かせない。

「かごしまブランド産地指定やかごしまの農林水産物認証の取得により、いいものを自分たちで責任を持って作りたい」という認識がさらに強くなりました。有機肥料なども取り入れ、消費者の方が安心してよりおいしく食べていただけるように頑張っています。

お薦めの食べ方を伺うと、一度、生で食べていただけたら、違いがわかる

と思います。おいしきは保証します」と内門さん。そのおいしさは口コミで広がり、県内外への宅配も多いという。生で丸ごと食べてみて、従来のきんかんとは全く違うその甘さに驚いた。やわらかい皮とジューシーな果肉が本当に甘くておいしい。

まるごと皮まで食べることで、きんかんは、糖度が高くビタミンCたっぷり風邪の予防にも効果的で、まさに健康的な食品。

一度食べると、どうしてもまた食べたくなる「南さつまのハウスきんかん春姫」。このおいしさを一人でも多くの方にぜひ一度味わっていただきたい。